



現代国際巨匠絵画展の作品を飾り付ける瀬戸内会の職員

著名画家版画や書120点

産業振興ビル きょう慈善展開幕

社会福祉法人瀬戸内「現代国際巨匠絵画展」(胸上)などが主催するチャリティー企画

3～5日の午前10時～午後6時、産業振興

ビルで開かれる。瀬戸内会職員らが2日、ジャンルや作家別に作品を展示し、準備を整えた。

東山魁夷「緑響く」、シャガール「魔笛」といった著名画家代表作の版画をはじめ、ダウソンの書家金澤翔子さんの「道」「絆」と力強い筆致でしたためた書など120点を展示販売する。豊かな自然を淡い色調で描いた風景画30点

を出品し、会期中の毎日サイン会を開くフランスの画家ジャネット・ルールさん(75)が2日、会場を訪れ「素朴な田舎の景色をそれぞれの感性で楽しんでほしい」と話していた。収益の一部は市内の障害者福祉施設への寄付と、熊本地震(2016年4月)被災地への義援金に充てる。入場無料。瀬戸内会が運営する福祉施設の利用者が作ったせんべい、生うどんも販売する。瀬戸内会は市内や倉敷市で障害者福祉施設を運営している。(正本和臣)

福祉、被災地の支援に

巨匠絵画展 市社協などに寄付



2月に産業振興ビルで開かれたチャリティー展「現代国際巨匠絵画展」の実行委員会は19日、売り上げの中から29万1622円を市社会福祉協議会と日本赤十字社に寄付した。市社協の福祉事業と、熊本地震(2016年4月)の被災地支援に充てられる予定。実行委員会は市民有志や社会福祉法人瀬戸内会(胸上)の理事、職員らで構成。19日は

市社会福祉協議会などへの寄付金を持参した「現代国際巨匠絵画展」実行委員会の小泉さん(右)ら

実行委員長の小泉金吾さん(75)＝滝＝ら3人が市役所を訪れ、黒田晋市長に寄付金を託した。小泉さんは「わずかな金額だが、困っている人を少しでも手助けできればうれしい」と話した。

絵画展は2月3～5日に開かれ、フランスの画家ジャネット・ルールさんの油彩画をはじめ、東山魁夷の版画、ダウソンの書家金澤翔子さんの作品など約120点を展示販売。会期中、約600人が来場した。(正本和臣)